

建設発生土改良センター

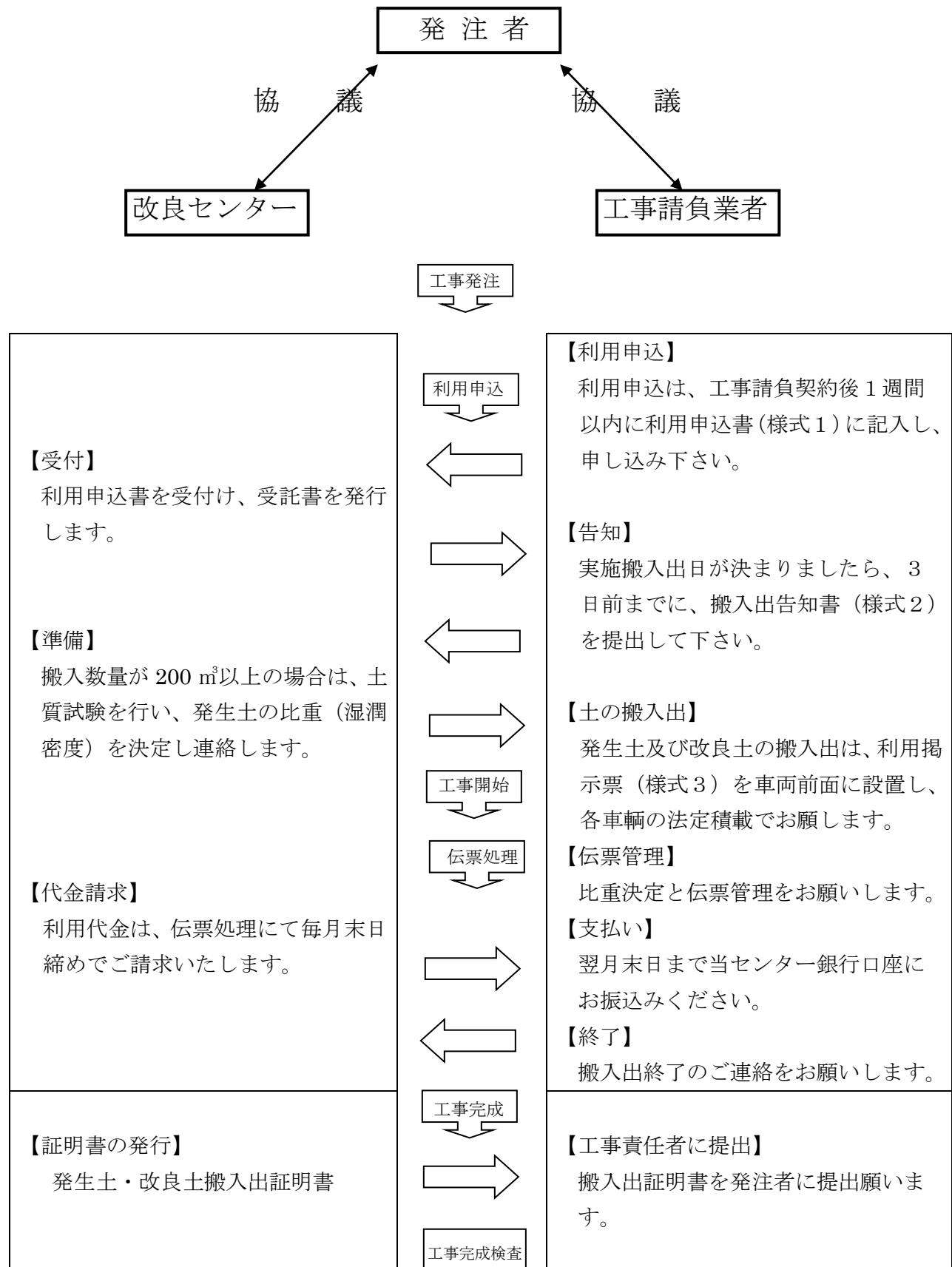
利用要領

令和7年4月改訂

(一社) 西村山建設業協会

建設発生土改良センター

改良センター利用フロー



改良センター利用要領

1. 営業範囲

村山総合支庁管内

2. 処理能力及びストック量

(1) 処理能力 170 m³／日 (平均)

(2) ストック量：搬入土と改良土の合計ストック量 16,000 m³ (寒河江)

3. 営業時間

原則として、土曜日・日曜日・祝日を除く午前8時から午後5時までとします。

上記以外の日は、相互の協議の上決定します。

尚、雨天日でも対応致します。

4. 発生土の種類及びその制限

(1) As魂・Co魂・木くず・木根・ゴミ類・金属等の産業廃棄物及びリサイクル碎石 (RC)
やセメント改良土は混入しないこと。

(2) コーン指数2未満の発生土も受け入れるが、含水比80%以下であること。

(3) 有機質汚泥及び建設汚泥は受け入れられない。

5. 改良土の取扱い及び割増率

(1) 搬出された改良土は、シート等で覆い、雨雪に出来る限り触れないよう養生して下さい。

(2) 改良土使用においては、工事目的に合うか、現場環境に適しているか発注者監督員と確認をして下さい。

(3) 転圧による体質変化率は、20%減少し、又、損失が5%見込まれるゆえ施工にあたっては、埋め戻し体質の1.25倍の改良土が必要と思われます。

6. 改良土の品質保証及び管理

(1) 基本的には、室内CBRの値をもって改良土の品質保証とします。

(2) 品質管理は、改良土の室内CBR試験の結果を報告する事により行います。

(3) 試験頻度：自主検査1,000 m³毎に1回測定。

7. 改良材の種類

改良材は、基本的に生石灰を使用します。但し、発注者の指示によりセメント系でも可能ですが、六価クロム等溶出試験は別途計上願います。

8. 搬入出の検収方法

車両の種類	2t車	4t車	10t車	11t車 (10tロング)
改良土の積載量 (m ³)	1.5	3.0	7.0	8.0

尚、発生土の積載量はトラックスケールにて重量を測定し、土質によって湿潤密度を設定して、数量を算出致します。

(参考)

土 質	シルト	密な粘土	ゆるい粘土	有機質土
湿潤密度 (g/cm ³)	1.70	1.65	1.50	1.40

9. 1日当たりの搬入許容台数

10t車で最大100台

10. 発生土受入及び販売価格

発生土受入れ価格 (改良土)	5,800 円／m ³
販売価格 (CBR≥20)	2,200 円／m ³ (東南村山地区)
	2,000 円／m ³ (西村山・北村山地区)